

認知症の人のしたい・できる事を 支えるガイドブック

(河合町認知症ケアパス)

抱え込まないで。「相談」することが大切です。

認知症は誰にでも起こり得ます。しかし、早期から適切な治療や支援を受けることで認知症の進行をゆるやかにすることができます。

「最近何かおかしいな」と思うことがあれば、一人で、家族だけで抱え込まずに、一歩踏み出して相談してみることが大切です。

この認知症ケアパスは、認知症の進行にあわせて、「いつ、どこで、どのような医療や介護などのサービス」を受ける事ができるのかを掲載しております。情報提供だけでなく、皆様の相談のきっかけとなれば幸いです。

相談先はかかりつけ医や役場（地域包括支援センター）等、身近な所にあります。皆様がそれぞれ話しやすいと思うところにまずは相談してみましょう。



令和7年4月
河合町地域包括支援センター

認知症とは

いったん獲得された記憶力や理解する力等が、何らかの原因によって、持続的に低下し、暮らしに困り事が生じ、援助が必要になる病気です。

認知症の症状には、脳そのもののダメージにより生じる症状と、関わる人や環境などが複雑に絡み合っ起こる行動・心理面の症状があります。

後者は、関わり方の工夫や関わる人の気持ちの変化、環境整備等により、改善する可能性があります。

脳のダメージによる症状

苦手な事	症 状
記 憶	行った事実が、記憶から消え去る状態で、記憶のつながりが途絶えることで不安になります。安心を得ようと何度も聞いたり、探したりします。
けんとうしき 見 当 識	時間・場所・人の認識を見当識（けんとうしき）と呼び、人が安心してその場に存在することができる条件です。一般的に、時間・場所・人の順に認識が難しくなります。
実行機能	計画を立てて、順序よく行動することが難しくなります。（例：料理を作る、旅行の計画をするなど）
失語・失認・失行	名前が出てこない、目では見えているのに、それが何かわからない、動作のやり方がわからなくなります。

行動・心理面の症状

行 動 症 状

- 目的をもって移動するが迷ってしまう
- 上手く伝えられず暴言・暴力や抵抗として表面化してしまう
- どうしてよいか理解できずがんばって動きすぎる
- 努力して対処しようとするが不本意な行為となってしまう

心 理 症 状

- 心配事に対処できず、何度も不安になる
- 覚えようとするが、人を間違えて認識してしまう
- 抑うつ
- 行動が静止してしまい無気力を生じる
- 現実には無い対象を感じ取る
- 合理的でなく、訂正できない思い込みを口に出す

※脳のダメージにより生じる症状なので、
本人の意思により生じているものではありません

早期発見と早期治療が大切

認知症は治らないから、医療機関に行っても仕方がないと考えていませんか？認知症も他の病気と同じように、早期発見と早期治療が非常に大切です。日常生活で異変を感じたら、なるべく早く医療機関（かかりつけ医）を受診しましょう。

【早期発見・早期治療のメリット】

＋リッス

1

治る認知症や一時的な症状の場合があります。

認知症を引き起こす病気には、早めに治療すれば改善が可能なものもあります。早めに受診し、原因となっている病気を突き止めることが大切です。

＋リッス

2

進行を遅らせることが可能な場合があります。

例：アルツハイマー型認知症は早い段階から薬の投与等の治療や、本人の気持ちに配慮した適切なケアにより、進行を緩やかにすることが可能といわれています。

＋リッス

3

今後の生活の準備をすることができます。

早期の診断を受け、症状が軽いうちに、ご本人やご家族が認知症への理解を深め、認知症と向き合い話し合うことで、今後の生活の備えをすることができます。

（介護保険サービスを利用するなど生活環境を整えていけば、生活上の支障を減らすことも可能になります。）



◎ポイント

受診の時には、普段の本人の状況を知っている方が付き添って受診すると、診察がよりスムーズになります。また、複数の医療機関を受診している場合、かかりつけの薬局を持つことで副作用や相互作用が無いかより分かりやすくなります。

河合町での取り組み



* 地域全体で認知症を正しく理解するための取り組み

◇ 認知症サポーター養成講座

一人でも多くの方に認知症の事を理解し、サポーター (= 地域での応援者) となって頂きたいと考え、住民の方や企業を対象に講座を行っています。

認知症の種類や症状についての基本的な内容を学び、認知症の人との関わり方について考えます。

3人以上集まり、依頼をいただくと開催します。(講座は90分程度で受講者には“サポーターカード”を配布します。ステップアップ講座等もございますので、お問い合わせは地域包括支援センターまで。)



◇ 図書館認知症コーナー

河合町立図書館では、気軽に認知症の本を手にとって頂き、他人事でなく自分事として考えて頂くきっかけになる事を目的に、認知症コーナーを設置しています。

※毎年9月の認知症の理解を深めるアルツハイマー月間には、河合町役場内でも認知症に関する内容を展示しています。



◇ 認知症講演会

認知症を正しく理解する事を目的に開催しています。認知症のご本人やご家族に登壇いただき、当事者の声として発信しています。



* 医療と介護の専門チームでのサポート体制

◇ 認知症初期集中支援事業

認知症になっても出来る限り住み慣れた良い環境で暮らし続けられるために、複数の専門職で構成されたチーム員が早期に関わり、認知症の早期診断や早期対応に向けてサポートを行います。

* 認知症になっても安心して外出ができる取り組み

◇ おかえり見守り事前登録

認知症の人が行方不明になられた際に、どのような対応(防災無線や消防団の搜索等)を行うかを事前に登録しておき、万が一の場合に備える為の登録制度です。申請窓口は河合町役場 福祉政策課です。

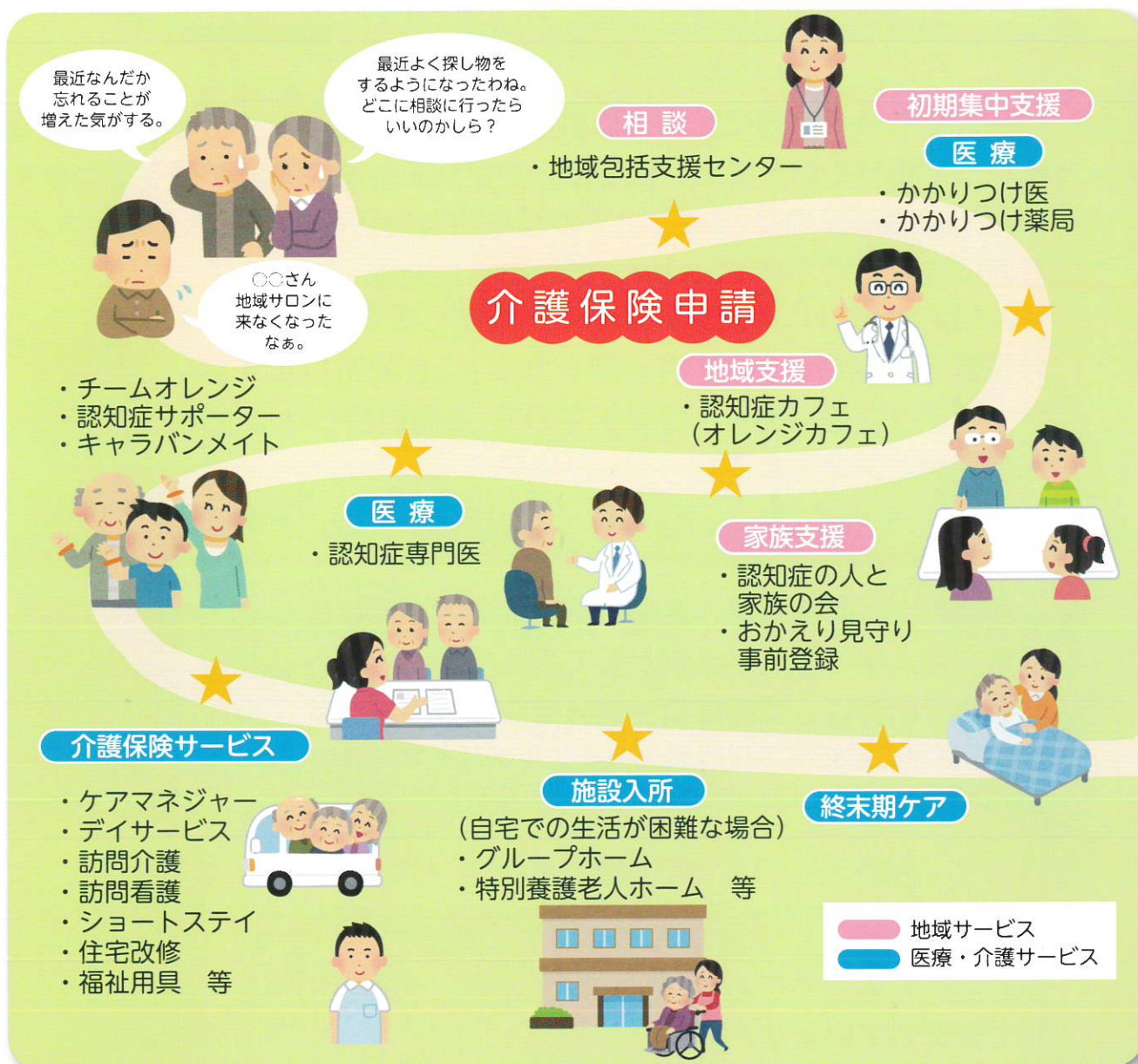
地域で安心して暮らし続ける為に ～活用可能な支援の流れ～

気付く

見守り

手助け

介護が必要



〔福島県伊達市 認知症ケアパスより引用〕

安心して暮らしていく為のポイント

◆地域の方を頼りましょう

- ・認知症の事をご近所に理解してもらう事で、安心感が生まれます。しかし、いきなり打ち明けるのは難しいという方もおられると思います。そのような場合、町内に認知症のご本人やご家族同士で悩みや想いを話し合えるカフェがございますので、ご活用ください。
- ・また、地域には民生委員もおられますので、ご相談ください。

(※民生委員とは：大字ごとに担当者がいて、住民の立場で相談に応じ、行政等と連携を図り、支援を行う方)

◆介護保険サービス等を活用しましょう

ご本人が楽しみを持つことや、ご家族が少し休息の時間を作れるように、デイサービスやショートステイ等のサービスを活用することも一つです。

自宅で転倒を防ぐために、手すりを設置したり、介護用品をレンタルすることができます。

(詳細は地域包括支援センターまで)

各相談窓口等の一覧



認知症の相談窓口

相談先	住所	連絡先
* 町内薬局 スギ薬局 星和台店 スマイル薬局星和台店 スマイル薬局広瀬台店 星和台薬局 / 東洋薬局河合店 福西薬局 / みどり薬局	窓口にてご相談ください。 窓口に掲載している このステッカーが目印です。	
* 町内認知症グループホーム 西之岡 和(なごみ)・泉 アシスト緑の丘	河合町大輪田420-1 河合町泉台3-8-24 河合町佐味田2510	☎0745-34-0507 ☎0745-58-2278 ☎0745-57-0707
* 若年性認知症のご相談 奈良県若年性認知症 サポートセンター	奈良市大和田町1914-1	☎0742-81-3857

近隣の認知症対応医療機関（ものわすれ外来等）

かかりつけ医がおられる場合は、まずはかかりつけ医にご相談ください。

医療機関名	住所	連絡先
ニッセイ聖隷クリニック	河合町高塚台1-8-1	☎0745-33-2211
ハートランドしぎさん	三郷町勢野北4-13-1	☎0745-72-5006

※事前予約が必要です。その他の医療機関や詳細については包括支援センターまでご相談ください。

権利擁護（成年後見制度等）に関する相談

相談先	住所	連絡先
社会福祉協議会	河合町山坊24-3	☎0745-58-2734
コスモス成年後見サポートセンター 奈良県支部	奈良市高天町10-1 (株)T.Tビル3階	☎0742-27-5464

総合相談窓口

河合町地域包括支援センター

〒636-8501 奈良県北葛城郡河合町池部1-1-1
 TEL.0745-57-0200(代) FAX.0745-58-2010

